

創立50周年
記念事業を終えて



副実行委員長
(副会長)
立崎 亨一



発行責任者
会長 升澤 博也
発行所
〒034-8615
十和田市西十二番町6-1
十和田市町内会連合会
事務局
外郭団体事務室
☎(51)6783

令和4年12月4日、市民文化センターで十和田市町内会連合会「創立50周年記念式典」並びに「ふれあいフェス」を開催いたしました。コロナの影響を受け、一年遅れの開催でしたが、ご来賓多数の皆様のご出席をいただき盛会に終了することができました。関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

記念式典は厳粛に行われ、歴代の会長及び役員並びに10年以上単位町内会長をされた皆様46名に表彰状、感謝状が贈られました。升澤会長は式辞で、昭和46年に



表彰状・感謝状の受賞者の皆さん

も強い絆を持ちながら50年を契機に、より一層「みんなで作る地域の底力」をキャッチフレーズとして頑張っていきたいと、力強く話されました。

その後、小山田市長、江渡代議

市町内会連合会が60町内会で発足以来、紆余曲折がありながらも今日を迎え、現在は292町内会となり、町連発展に尽力された歴代の会長、役員皆様の尽力の賜であり深く敬意と感謝を申し上げます。今後と

士、神田代議士、畑山議長から少子高齢化による人口減少の中、町内会の果たす役割は極めて重要であり、更に精進し十和田市の発展と町内会連合会の活躍に期待するとの祝辞がありました。

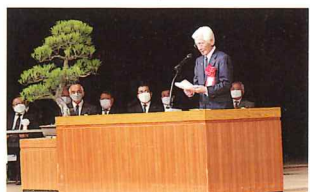
記念事業として実施した「町連ふれあいフェス」は、各町内会からの歌や踊り、マジックショーなど自慢の芸を出していただき、特別出演では中学生や子供たちの吹奏楽やモダンバレエなどもあり、皆が楽しんだ「フェス」でした。

そして、記念事業の締めとして感謝と慰労を兼ねた「記念祝賀会」には多くの来賓や町内会長も出席され、沢田鶏舞や新舞踊等のアトラクションで楽しみ、最後は全員で「三本木小唄」を踊り大いに盛り上がりました。

今後60周年、70周年に向けてさらに邁進する覚悟です。皆様方より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



升澤会長式辞



小山田市長祝辞



祝賀会のようす



升澤会長あいさつ



最後に三本木小唄で締めました



沢田鶏舞

祝賀会のようす



町連フェスのようす

会長あいさつ



十和田市町内会連合会
会長 升澤博也

協働のまちづくりを目指して

延期しておりました創立50周年記念事業を12月に執り行うことができましたことに、町連を代表して心から感謝を申し上げます。

さて、当市でも人口減少と少子高齢化が急速に進んでおり、町内会の後継者問題、若い世代の加入率問題、更にコロナ禍の影響もあり、今まで通りの活動が、難しい状況にあると思います。

しかしながらこれらの問題に向き合うために「町内会活性化検討委員会」を7月に立ち上げました。構成員は、50歳代以下の6名です。私達にない視点の違いや発想、驚くような活発な意見が飛び交っています。回を重ねて町連の方向性を探っていききたいと思っています。また、これらの問題に向き合うために「会長と語る会」は継続していきます。

町内会を長く存続し活動していくためには、町内会みんなが協力

し支え合うこと、地域のみんなが笑顔で暮らせる元気なまちであること、それを願う町内会連合会のスローガン「みんなが創る地域の底力」を合言葉に事業へ取り組みていきます。

「自分たちのまちは自分たちで守り、自分たちでできることは自分たちです」

そして、地域の皆さんでできないことについては、行政と一緒にやっていきたいと思っています。

それが協働のまちづくりだと思いますので、ご協力をお願いいたします。

部会の動き



総務部
部長 太田 薫

前進の一步

【役員研修会】

「よく分かる新聞の見方」と題して、南コミュニティセンターにて東奥日報社ビジネスセミナーを開催し、スキルアップを図った研修会でした。

【市と町内会との懇談会】

町連最大の事業である「市と町



東奥日報社ビジネスセミナー(南コミュニティセンター)

内会との懇談会」を、4会場で「住み続けたいまちづくり」を目指し開催しました。ごみのリサイクルについて、水害の被害状況、除雪の問題、スマホのアプリを使った行政サービスなど様々な意見交換を行いました。

【町内会運営ガイドブックの見直し】

平成29年に作成して町内会に配布した町内会加入の呼びかけ等のガイドブックを各町内会の環境の変化に合わせて見直しに取り組みしており、来年度、配布できるように進めております。

【町内会活性化検討委員会】

町内会や他団体に所属している若い世代の人たちを中心に立ち上げた検討委員会では、活発な意見交換がなされ斬新な発想などが出

ております。これらの意見を反映していければと思います。

【協働のまちづくり会議】

市と町連では、共通の目的を達成するために一緒に課題等へ取り組んでおります。



交通安全福祉部会
部長 舛甚 英文

今年の春、秋の交通安全運動期間に掲げるのぼり旗の設置について従来と変更しました。部会員の出身地に近い所で危険な場所を特定して、設置するものです。部会員の住んでいる地域で交通事故を起こすことのないようにとの願いをかけました。街の中だけでなく、町から離れた場所でも事故は起こっています。

今、全国的には信号のない横断歩道では車は一時停止し、歩行者の安全を守る運動が強化されています。この運動は令和4年度に私たち交通安全福祉部会の重点目標にしたものです。今後ともこの方針を堅持していきたいと思っています。

次の交通安全運転の5則を皆さんで守りましょう

- ①安全速度を守る

- ② カーブの手前でスピードを落とす
- ③ 交差点では必ず安全を確かめる
- ④ 一時停止で横断歩行者の安全を守る
- ⑤ 飲酒運転は絶対にしない



歩行者の安全を守る交通安全運動



3年ぶりの訓練

3年ぶりに8月21日(日)地震災害を想定し赤沼町内会で、約80名が参加して、地域密着型防災訓練を実施いたしました。

安否確認・避難経路の確認と避難場所へ移動・避難所開設・運営訓練・屋外での消火訓練・非常用発電機の手動訓練・株マルヤマの協力のもと、屋内でのスモーク訓練では、煙で周りが見えなくなることの怖さを体験し、火事の恐ろ



防災訓練のようす (赤沼町内会)



環境衛生部会
部会長 成田 誠

今年の花苗配布は、5月28日と例年より早く成育が心配されましたが、良い苗を渡す事ができました。7月に初めての試み「まちなか美化運動」を各団体の参加、企業

しさを改めて感じました。大広間では、市役所総務課防災危機管理室の指導のもと、段ボールベッドと室内テントを實際に参加者で組み立ててみました。最後は、民生委員の東さんと一緒に寸劇「避難しそびれた一人暮らしの高齢者」をやりました。災害はいつ起こるかわかりませんので、皆さんもいざという時のために訓練の大切さを知って欲しいと思います。ご要望等がございましたら、いつでもご相談ください。



まちなか美化運動の実施

の協賛で4班に分かれ実施しました。空店舗の前などは雑草がスゴくて予定の時間で終らず、ごみ袋には大量の土が入り焼却施設に出せない袋もありました。また草刈り後に土が残り市民からの「苦情」もあり、後日軽トラックで残土処理を余儀なくされました。今後は作業手順を確認し、商店主の自主性を促すことが重要であると感じました。ごみ箱の新設、修繕を希望する町内が多く、部会員が現地調査をして判断しており、限られた予算の中で苦渋の選択をしているのが現状です。今後も各町内会の要望にできる限り応えていきたいと思えます。

令和4年度は市町連50周年事業も有り節目の年となりましたが、今年度の反省を生かしつつ次に繋げていきたいと考えています。

《町内会要望手順》

- 1月31日(火) 単位町内会へ町内会要望書発送
- ↓
- 4月28日(金) 町内会要望書締切り
- ↓
- 5月31日(水) 町連で町内会要望書を整理し、市側へ提出
- ↓
- 7月31日(月) 市側より回答書が町連に届く
- ↓
- 8月2日(水) 単位町内会へ回答書を発送

有意義な懇談会にするため、町内会要望のスケジュールを今年度も早くいたします。

◆◆お知らせ◆◆
「市と町内会との懇談会」

南地区コミュニティの活動

会長 氣田 信人

「うるおい」と「まとまり」のある地域づくりを目指し、昭和54年11月、県の都市型モデル第1号として発足し、今年で設立44年となりました。

推進委員86名が中心となり、年間を通し活動を行っております。

主な活動として

◆文化広報部会

コミュニティ新聞「みなみ」を年間6回発行、全戸に配布しております。

◆青少年育成防犯部会

夏休みに入った南小学校の児童約70名が参加し、子供の夏まつりを行っています。

また、児童の安全・地域の安



子どもの夏まつり



◆生活環境部会

南コミセン敷地内の庭木の剪定を年2回行って



南コミセン内 庭木の剪定作業

おります。

他に南コミュニティセンターまつり・地域住民250名が参加する納涼パーティ・参加者100名による新春顔合せ会・南地区演芸会等を行っておりますが、推進委員も高齢化してきており、若い方の参加が期待されます。

◆南コミュニティセンターの指定管理者導入

市の行政改革・地域の推進協議会が管理することで、住民サービスの向上が期待される事等により指定管理者を受託する事になりました。

岡山視察研修の報告について

太田 薫

新しい取り組みとして、先進地、町内会加入率79%の岡山市を訪問し、視察研修を実施いたしました。岡山市は十和田市の12倍の人口ですが、岡山市連合町内会役員との話し合いでは、具体的に3つの問題点を持って臨みました。

- ①若い人たちの役員のなり手が無い。
- ②若い年代で町内活動に積極的に参加する気持ちが無い。
- ③会長や役員が高齢化する中で、なり手が無い。

これらの問題点は共通していて、岡山市では子育てや、PTA、町内活動に関わって来た女性の感性を取り入れ会長や役員として活躍できる環境づくりに努めていました。



【研修視察】岡山市連合町内会の皆さんと

また、大変興味深い取り組みで

は、岡山市連合町内会の電子町内会の立ち上げで、ICT専門部会と岡山市企画総務課が連携して取り組んでいることでした。紙面の関係上掲載出来ない部分があります。これまで計4回程度の報告会で詳細を報告してきましたが、岡山市との友好交流では、何回も繰り返し勉強し、意識を高めていく事の大切さ等を学び、大変有意義な先進地視察研修会でした。

編集後記

待たれた50周年、12月4日は意義ある1日でした。記念式典は肅々と行われ心が引き締まる思いで、久しぶりに緊張感を覚えました。前日の夜は大勢の町内会長の協力のもと、準備万端。

さらには、市民を巻き込んだでのフェスティバル。みんなにも芸達者な方々がいらしたのかと驚くばかりでした。充実した1日を本当にありがとうございました。



(堰野端順子)

*編集委員長

*副編集委員長

*編集委員

*顧問

- 佐々木保信
- 堰野端順子
- 福沢 周治
- 起田 洋一
- 太田 薫